



でん き

こどものための電気がある暮らし

00

高崎市歴史民俗資料館 令和4年 9月10日(土)~2月26日(日) 令和5年



昭和時代

入館無料

【うすときね】白と杵

木製の白と杵は、木を割れにくくするために、前日から水にひたしておきます。もちつきの日は、といたもち米を一晩、水にひたしておいてせいろで蒸します。蒸しあがったもち米を白に入れて、杵に体重をかけ、もち米をつぶすようにしながら白の回りを回ります。つぎに、力を入れすぎないように、ふり上げた杵を落とすようにして、もちをつきます。合の手を入れて、外から中へと折りこむようにします。つきあがったもちは、のし板にうって、あんこを入れて丸めたり、のしもちにしりました。

昭和時代

【もちつきき】餅つき機

もちが楽に
作れたらいいのに

昭和37年(1962)ころに、農機具メーカーが農家用に羽根を回して、もちをこねる大きな機械を発売しました。はじめは、せいろで蒸したもち米をもちつき機に入れていましたが、昭和46年(1971)に、もち米を蒸すためのボイラーをつけた小型の家庭用もちつき機が売り出されて大ヒット商品になりました。



昭和時代

【ほーむべーかりー】ホームベーカリー

昭和62年(1987)、ナショナル(いまのパナソニック)が世界ではじめてホームベーカリーを発売しました。材料を入れて、スイッチをおすだけで、こねて、はっこうして、焼くところまで自動でできます。外国でも人気のある商品ですが、日本の家庭用もちつき機がヒントになっています。いまでは、ホームベーカリーでも、もちが作れます。



開館時間：午前9時～午後4時 休館日：月曜日、但し9月19日(月)・10月10日(月)・令和5年1月9日(月)は開館し翌日休館
祝日の11月3日(木)・11月23日(水)・令和5年2月23日(木)は開館し翌日休館 年末年始：12月28日(水)～令和5年1月4日(水)
主催：高崎市歴史民俗資料館 〒370-0027 群馬県高崎市上滝町1058 Tel・Fax 027(352)1261

E-mail rekimin@city.takasaki.gunma.jp http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2013121900362/

江戸時代

[わたくりき] 綿繰り機

綿の実から種と綿毛をわける木製の道具です。ハンドルを回すと2つのローラーが回転して、そのすき間に入った綿は向こう側へ送られ、種だけが手前に残ります。手でとるより早く、きれいに種がとれます。



明治時代

[せいめんき] 製麺機

うどんがかんたんに作れたらいいのに

そうめん作りがさかんだった佐賀県に生まれた発明家の真崎照郷は、そうめんが材料の小麦粉の4倍の値段で売れることから、そうめんを機械でたくさん作ることを思いつきました。綿繰り機をヒントにしたロール機の間、小麦粉をこねたものを通してうすくのぼし、次に、たてにみぞのあるローラーに通すと、細く切れてめんになります。



昭和時代

[しゅれっだー] シュレッター

コピー機のセールスマンをしたことがある明光商会の高木禮二社長は、コピー機が普及すると紙の処分に困る時代がやってくると予想して、ごみの処分方法を考えていました。ある日、むかしアルバイトで使ったうどんの製麺機を見て、うどんのように紙を細く切るペーパーシュレッターを発明しました。

明治時代

[せんたくいたと たらい] 洗濯板とたらい

明治時代にせんたく板が登場しましたが、おけやたらいを使って手で洗っていました。冬は冷たい水しごとで、せんたくはとてもたいへんな作業でした。

もっと楽にせんたくが
できたらいいのに

昭和時代

[でんきせんたくき] 電気洗濯機

昭和5年(1930)に売り出しました。せんたく物を1枚ずつローラーにはさんで、手でハンドルを回して水をしばりました。

昭和時代

[しゅどうせんたくき] 手動洗濯機

昭和31年(1956)、電気せんたく機のねたんが高かったので、手動の安いせんたく機が登場しました。お湯と洗剤、せんたく物を入れて手でふって洗いました。高崎のメーカーが売り出しました。



昭和時代

[てまわしせんたくき] 手回し洗濯機

40～80℃のお湯と洗剤、せんたく物を入れ、ハンドルを20回ほど回します。ふたを開けると、急に圧力がさがって、「ボン」と音がしてよごれが落ちます。昭和32年(1957)から、高崎のメーカーが売り出しました。日本だけでなく、世界にも輸出されて約30万台も売れたヒット商品です。

明治時代

遠くの人といつても
話せたらいいのに

[かべかけてんわき] かべかけ電話機

かべかけ電話機は、話すところと相手の声を聞くところが別々でした。ダイヤルのない電話機で、電話のたびに「電話交換手」が線をつなぎかえて、相手と話せるようにしていました。



昭和時代

[だいやるしきたくじょうでんわき]

ダイヤル式卓上電話機

電話を使う人が増えると、電話交換手の作業がおいっかなくなつて、自動で回線をつなぎかえる機械と、「ダイヤル式」の電話機がつけられました。



昭和時代

[ぷっしゅほんしきでんわき]

プッシュホン式電話機

昭和40年(1965)ころになると、コンピュータによる通信用の「プッシュホン式」の電話機ができました。



高崎市歴史民俗資料館



- ① JR高崎駅西口(群馬中央バス) 県立女子大行き約30分「慈眼寺裏」下車徒歩3分
- ② JR高崎駅東口(群馬バス) 日赤病院行き約20分「下滝西」下車徒歩8分
- ③ JR高崎駅東口(ぐるりん) 群馬の森線「滝川郵便局入口」下車徒歩15分
- ④ 関越自動車道(高崎 IC) 10分
- ⑤ 関越自動車道(高崎玉村スマート IC) 5分
- ⑥ 北関東自動車道(前橋南 IC) 10分

駐車場: 大型車3台 / 普通車20台

高崎市歴史民俗資料館 〒370-0027

群馬県高崎市上滝町1058 Tel・Fax: 027(352)1261

E-mail: rekimin@city.takasaki.gunma.jp

http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2013121900362/

